

# カルチャーセンターの概況

～ 50代以降の女性会員が50%を占める～

事業所数	693事業所
就業者数	6万4083人
年間売上高	600億円
1事業所当たり 就業者1人当たり	8660万円 94万円
講師数	5万7153人
延講座数	13万8534講座
延受講者数	745万7982人

## 1. 事業所数

平成14年におけるカルチャーセンターの事業所数は、693事業所で、前回(平成5年)比17.1%の増加となった。これは、心の豊かさ、生きがいを求める生涯学習に対する需要増に加え、社会・経済の高度化に伴い、知識や技能を絶えず向上させる必要があることから資格講座などの需要が増加していることなどによる。

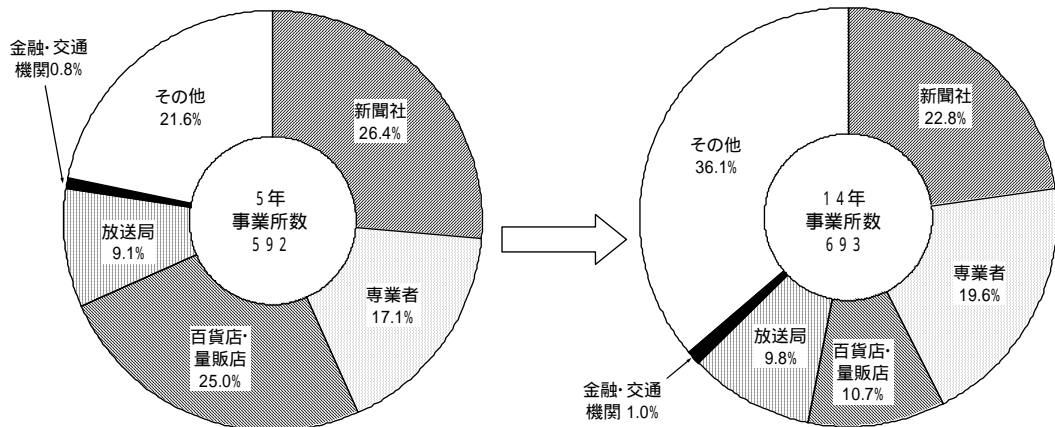
企業系列別にみると、「新聞社」が158事業所(構成比22.8%)、「カルチャーセンター専業者」が136事業所(同19.6%)、「百貨店・量販店」が74事業所(同10.7%)、「放送局」が68事業所(同9.8%)の順となっている。

事業所数の構成割合を平成5年と比較すると、「百貨店・量販店」が占めるカルチャーセンターの割合は25.0%から10.7%へと半減、他方、専門学校系列などが含まれる「その他のカルチャーセンター」の占める割合が21.6%から36.1%へと14.5ポイント増加している。

事業所数の構成比

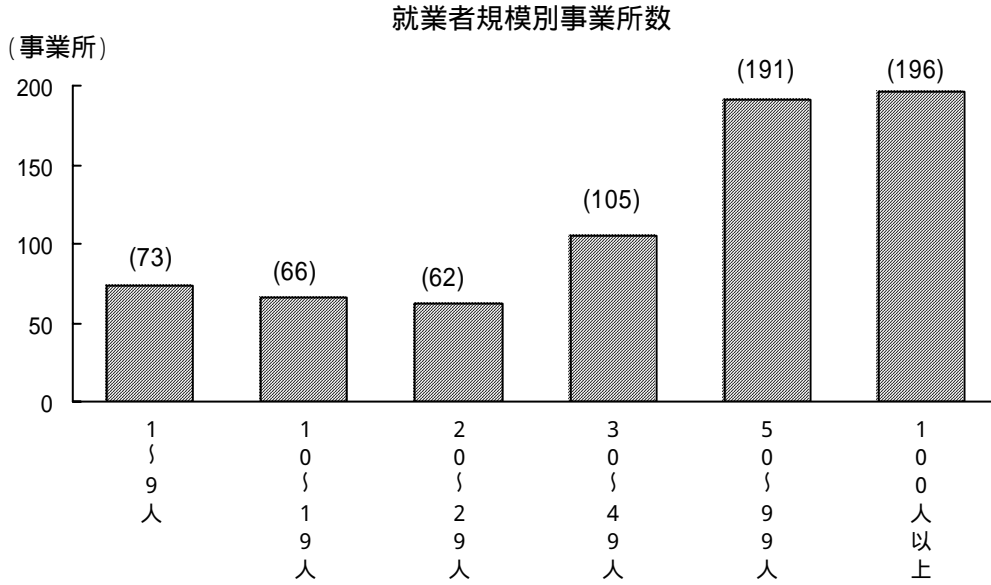
前回(平成5年)調査

平成14年調査

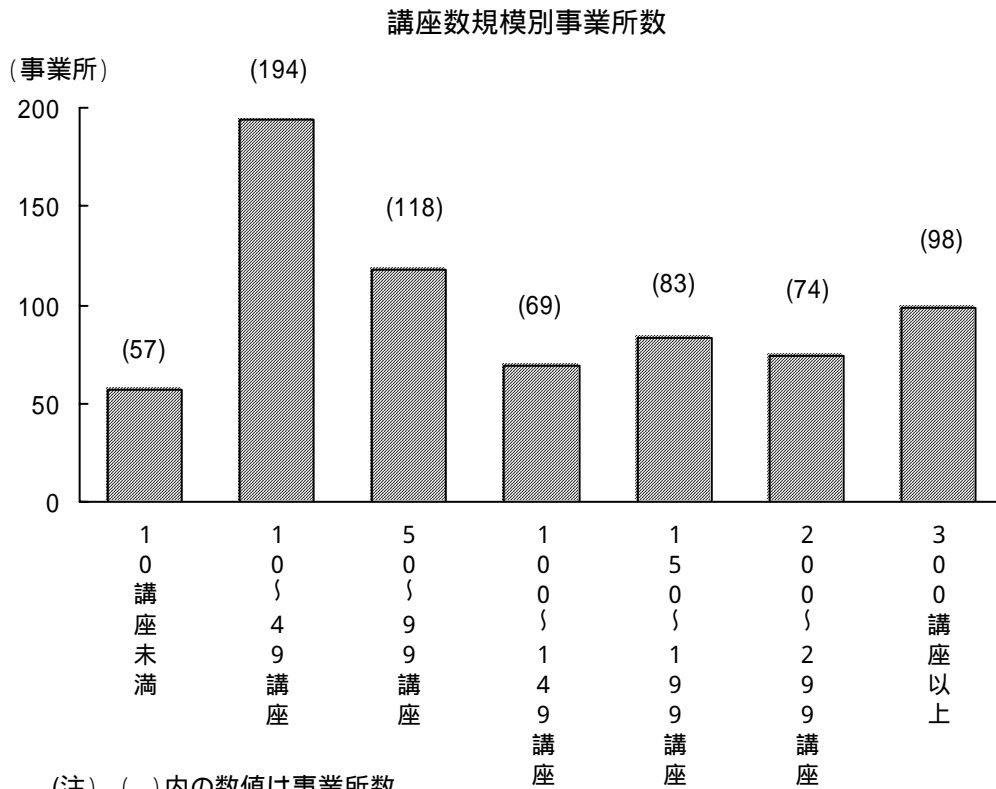


就業者規模別にみると、「50人以上」規模の事業所が387事業所と最も多く全体の5割強となっている。

講座数規模別にみると、最も多いのは、「10以上49講座」規模で194事業所(構成比28.0%)、次いで「50以上99講座」規模で118事業所(同17.0%)とこの2規模でカルチャーセンター数全体の5割近くを占めている。



(注) ( )内の数値は事業所数



(注) ( )内の数値は事業所数

## 2. 就業者数

就業者数は、6万4083人であった。これを雇用形態別にみると、カルチャーセンターでは講座開講時のみ勤務する非常勤講師の比率が高いため、「臨時雇用者」が5万3020人(構成比82.7%)と大きな割合を占めている。次いで、「パート・アルバイト等」が5867人(同9.2%)、「出向・派遣者(受入)」が2663人(同4.2%)となっている。「正社員、正職員」は2270人と、構成比はわずか3.5%にすぎない。

男女別にみると、「男性」は1万9878人(構成比31.0%)、「女性」は4万4205人(同69.0%)と就業者の約7割が女性となっている。雇用形態別で最も人数が多い「臨時雇用者」は、「男性」が1万6584人、「女性」が3万6436人と7割近くが女性となっている。

雇用形態別就業者数

			男 女 別			
	就業者数 (人)	構成比 (%)	男性 (人)	構成比 (%)	女性 (人)	構成比 (%)
合 計	64,083	100.0	19,878	31.0	44,205	69.0
個人事業主、無給家族 従業者又は有給役員	263	0.4	150	57.0	113	43.0
正社員、正職員	2,270	3.5	714	31.5	1,556	68.5
パート・アルバイト等	5,867	9.2	1,404	23.9	4,463	76.1
臨時雇用者	53,020	82.7	16,584	31.3	36,436	68.7
出向・派遣者(受入)	2,663	4.2	1,026	38.5	1,637	61.5

部門別にみると、「非常勤講師」が5万3537人、「専任講師」が3616人で、両者を合計すると、5万7153人で構成比が89.1%となり、講師の占める割合が高い。なお、1事業所あたりの講師数は、82人となっている。

部門別就業者数

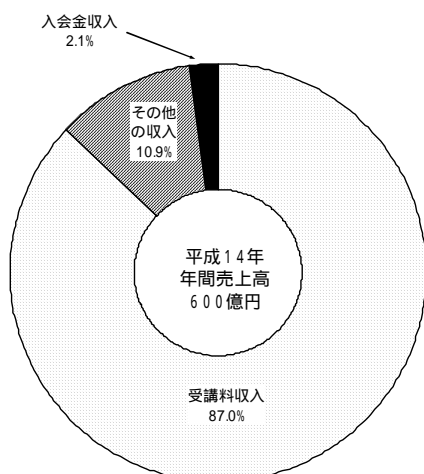
	就業者数 (人)	構成比 (%)
合 計	64,083	100.0
管理・営業部門	3,233	5.0
専任講師	3,616	5.6
非常勤講師	53,537	83.5
その他	1,034	1.6
出向・派遣者(受入)	2,663	4.2

### 3. 年間売上高

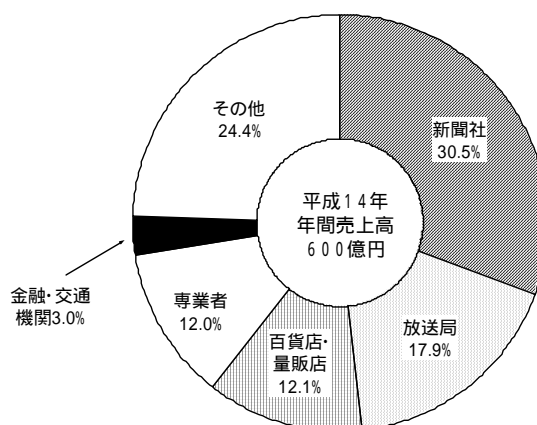
年間売上高は、600億円であった。これを収入区別にみると、「受講料収入」が522億円で全体の87.0%を占め、次いで「その他の収入」が65億円で同10.9%となっている。「入会金収入」は13億円で同2.1%とわずかである。これは、カルチャーセンター693事業所のうち、158事業所が入会金を徴収していないこと、さらに、講座によっては入会金不要としている場合やキャンペーンで入会金を免除する場合も多いため、入会金収入額は少ないものとなった。

次に企業系列別にみると、「新聞社」が183億円で売上高全体の約3割を占めており、以下「放送局」が108億円で同17.9%、「百貨店・量販店」が73億円で同12.1%、「専業者」は72億円で同12.0%となっている。

収入区別年間売上高



企業系列別年間売上高



### 4. 60分当たりの受講料

60分当たりの平均受講料は1175円、最も高い受講料(平均)は3171円となっている。これを、企業系列別にみると、平均受講料は「新聞社」が974円で最も低く、「その他」が1328円で最も高いものの、概ね1000円前後に集中している。

最も高い受講料をみると、専門領域の講座を設けている「専業者」が5356円と他の企業系列を大きく上回っている。

60分当たりの受講料

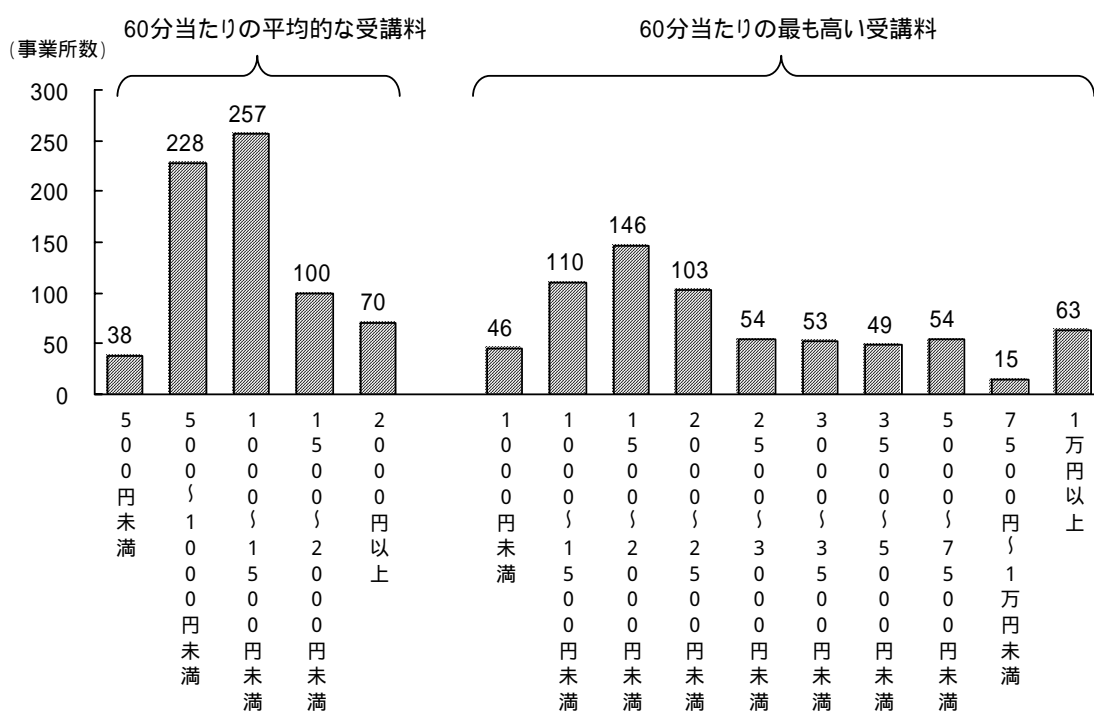
	60分当たり	
	平均的 受講料 (円)	最も高い 受講料 (円)
合 計	1,175	3,171
専 業 者	1,166	5,356
新 聞 社	974	2,473
放 送 局	1,133	2,227
百貨店・量販店	1,154	3,280
金融・交通機関	1,075	2,883
そ の 他	1,328	2,655

受講料規模別の事業所数をみると、60分当たりの平均的な受講料が「1000円以上1500円未満」が最も多く257事業所、次いで「500円以上1000円未満」規模が228事業所となっており、60分当たりの平均的な受講料を「500円以上1500円未満」規模としている事業所が全体の約7割となっている。

「60分あたり最も高い受講料」を受講料規模別にみると、平均では3171円となっているが、1000円未満から1万円以上の各規模に事業所は幅広く分布している。事業所数の最も多い規模は、「1500円以上2000円未満」規模で146事業所、次いで「1000円以上1500円未満」規模で110事業所、「2000円以上2500円未満」規模で103事業所となっており、この3規模に約5割の事業所が入っている。

一方で、受講料が5000円を超える事業所は132事業所で約2割、このうち1万円を超える高額な講座を開設している事業所が63事業所となっている。

受講料規模別事業所数



## 5. 延講座数、延受講者数、個人会員数

延講座数は13万8534講座であった。領域別にみると、「趣味・けいこごと」が最も多く7万8588講座、次いで「体育・レクリエーション」が2万3578講座となっている。

延受講者数は746万人で、領域別にみると、「趣味・けいこごと」が374万人で全体の5割を占めている。企業系列別にみると、専門学校系列が含まれる「その他」の受講者が406万人と最も多くなっている。

### 領域別延講座数及び延受講者数

領域別延講座数

(講座)

	教養の向上	趣味・ けいこごと	体育・レク リエーション	家庭教育・ 家庭生活	職業知識・ 技術の向上	市民意識・社 会連帯意識	その他	計
合計	19,932	78,588	23,578	6,873	4,897	580	4,086	138,534
専業者	1,983	8,426	1,286	690	x	x	1,298	13,773
新聞社	6,996	23,355	5,603	2,166	2,256	306	1,237	41,919
放送局	4,299	14,474	3,259	1,130	1,078	51	704	24,995
百貨店・量販店	1,721	11,786	4,059	1,219	x	x	x	19,111
金融・交通機関	1,041	1,636	1,188	39	x	x	x	4,011
その他	3,892	18,911	8,183	1,629	1,220	163	727	34,725

領域別延受講者数

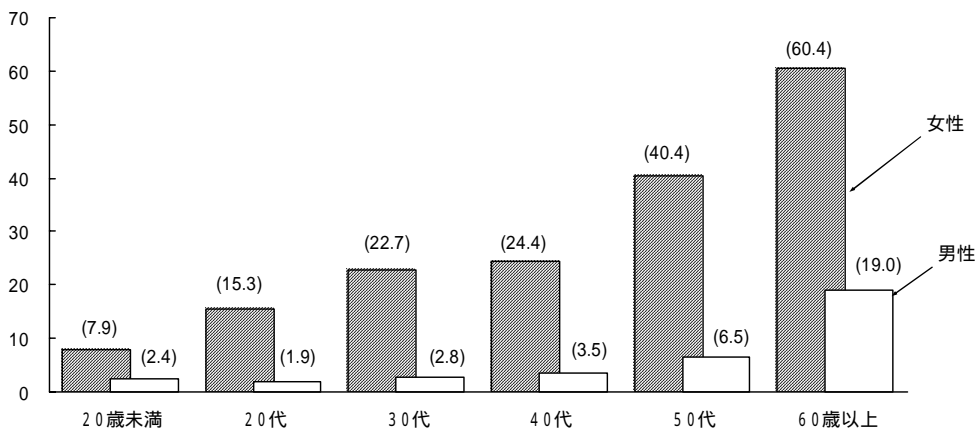
(人)

	教養の向上	趣味・ けいこごと	体育・レク リエーション	家庭教育・ 家庭生活	職業知識・ 技術の向上	市民意識・社 会連帯意識	その他	計
合計	960,496	3,735,958	2,016,495	279,646	224,786	39,465	201,136	7,457,982
専業者	29,830	123,812	31,189	7,466	x	x	11,138	207,265
新聞社	296,270	823,352	162,764	125,699	78,733	31,495	58,034	1,576,347
放送局	127,869	461,840	98,448	28,638	27,929	2,012	18,120	764,856
百貨店・量販店	51,526	438,019	114,128	32,458	x	x	x	644,594
金融・交通機関	63,130	82,652	56,700	996	x	x	x	204,100
その他	391,871	1,806,283	1,553,266	84,389	109,285	5,438	110,288	4,060,820

カルチャーセンターの個人会員数は207万人で、男女別、年代別にみると、50代以上の女性会員が圧倒的に多く、約101万人で全体の約5割を占めている。

### 男女別、年代別個人会員数

(万人)



## 6. 都道府県別事業所数

都道府県別の事業所数をみると、東京が80事業所で最も多く、全国に占める割合は11.5%となっている。以下、兵庫、愛知、神奈川、大阪、北海道の順で、カルチャーセンターは、人口が集中している都市がある都道府県で多くなっている。

都道府県別事業所数（上位10県）

順位	都道府県	事業所数	構成比 (%)
全 国 計		693	100.0
1	東 京	80	11.5
2	兵 庫	51	7.4
3	愛 知	49	7.1
4	神 奈 川	40	5.8
5	大 阪	39	5.6
6	北 海 道	35	5.1
7	福 岡	33	4.8
8	千 葉	29	4.2
9	広 島	28	4.0
10	岐 阜	20	2.9
10	京 都	20	2.9

都道府県別事業所数

